

主催：東京外国語大学附属図書館
協力：清泉女子大学附属図書館



今から 120 年前の 1897 年、本学の前身「高等商業学校附属外国語学校」にスペイン語専攻の課程が誕生しました。日本におけるスペイン語教育の黎明期といえるこの時期に、スペイン語第三代外国人教師として活躍した G.ヒメネス・デ・ラ・エスパーダは、翻訳を通じて日本文化紹介者としての業績も残しています。色鮮やかな版画が目を引きがちりめん本——日本の昔話を翻訳して日本で出版したのですが、このスペイン語版の翻訳は彼エスパーダの手によるものです。

今回の特別展示では、そのちりめん本を中心に、彼が翻訳者として関わった出版物をご紹介します。

東京外国語大学附属図書館第 18 回特別展示

スペイン語 120 周年記念

外国人教師エスパーダの業績 ～スペイン語版ちりめん本を中心に～

平成 29 年 10 月 23 日 (月) ～ 11 月 6 日 (月)

開館時間：平日 9:00-21:30

土日 13:00-18:30

会場：附属図書館 2 階ギャラリー

お問い合わせ：東京外国語大学附属図書館総務係

Tel:042-330-5193/E-Mail:tosho-soumu@tufs.ac.jp



<アクセス>

- 西武多摩川線「多磨駅」
徒歩 5 分
- 京王線「飛田給駅」北口
より多磨駅行き京王バス
にて約 10 分
「東京外国語大学前」下車

この特別展示会は、「Mundus Latinus in Japan」事業、ならびに「国立大学フェスタ 2017」イベントの一環として行っております。

「国立大学フェスタ 2017」の実施について（国立大学協会）<http://www.janu.jp/univ/festa/>

